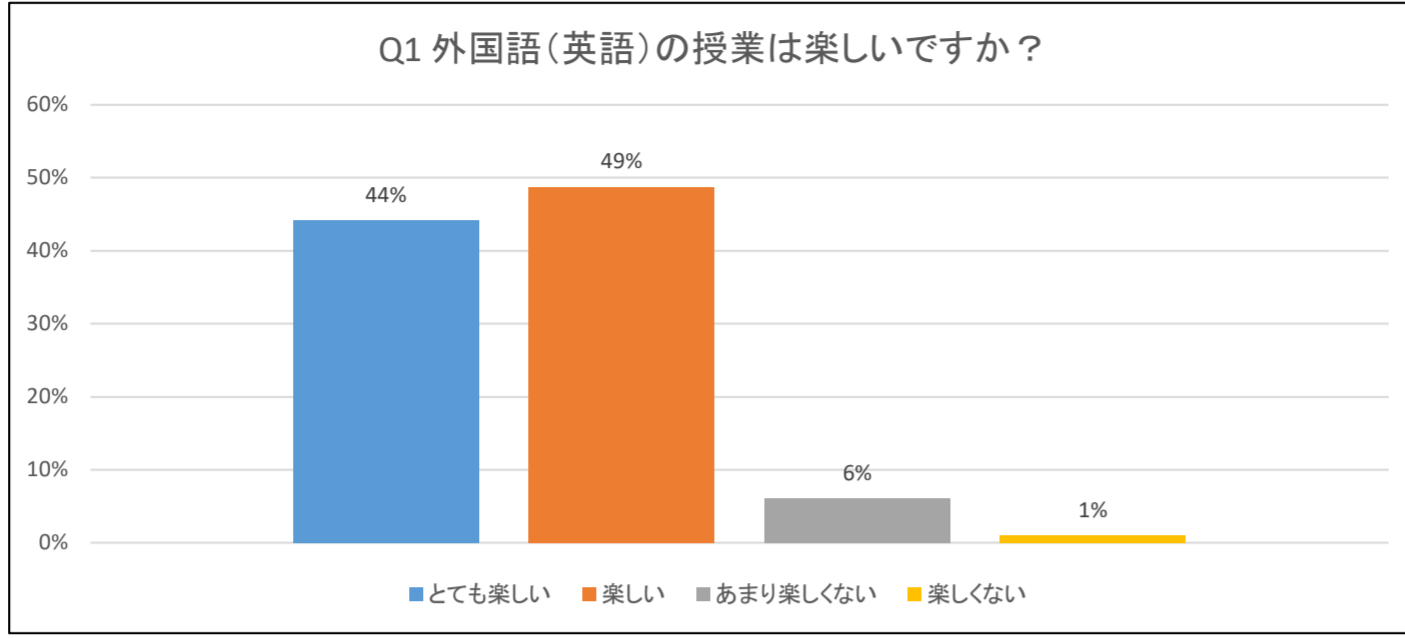
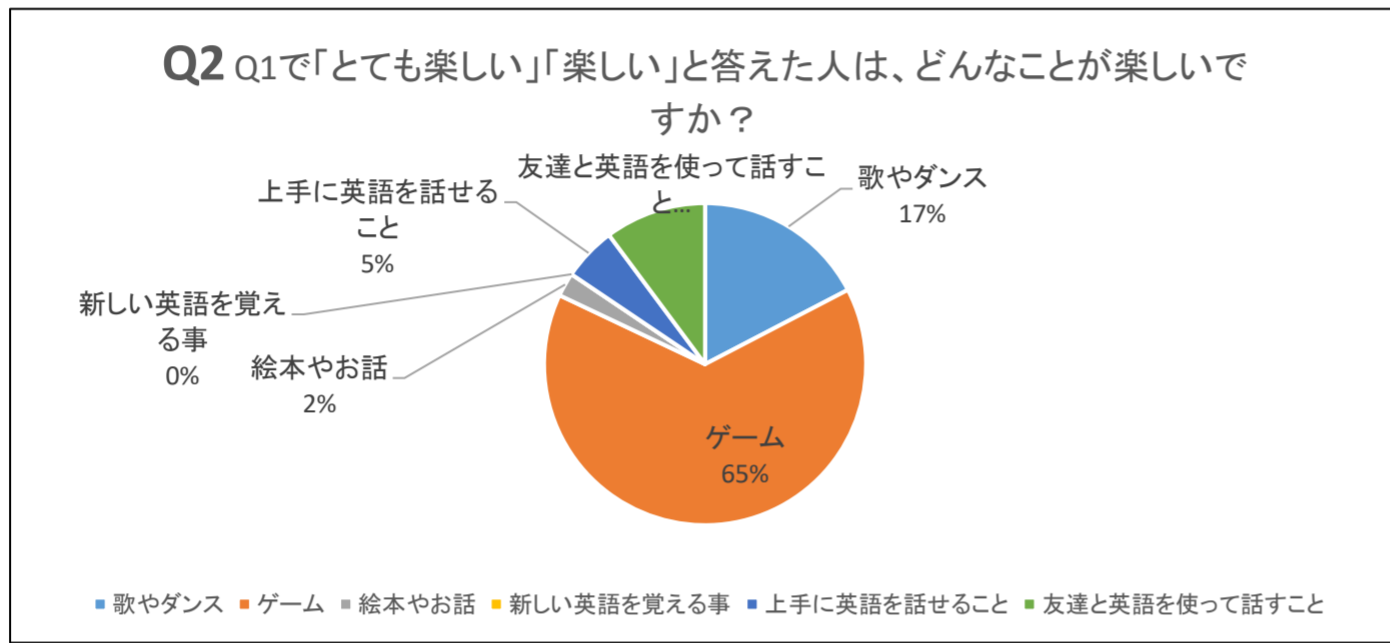


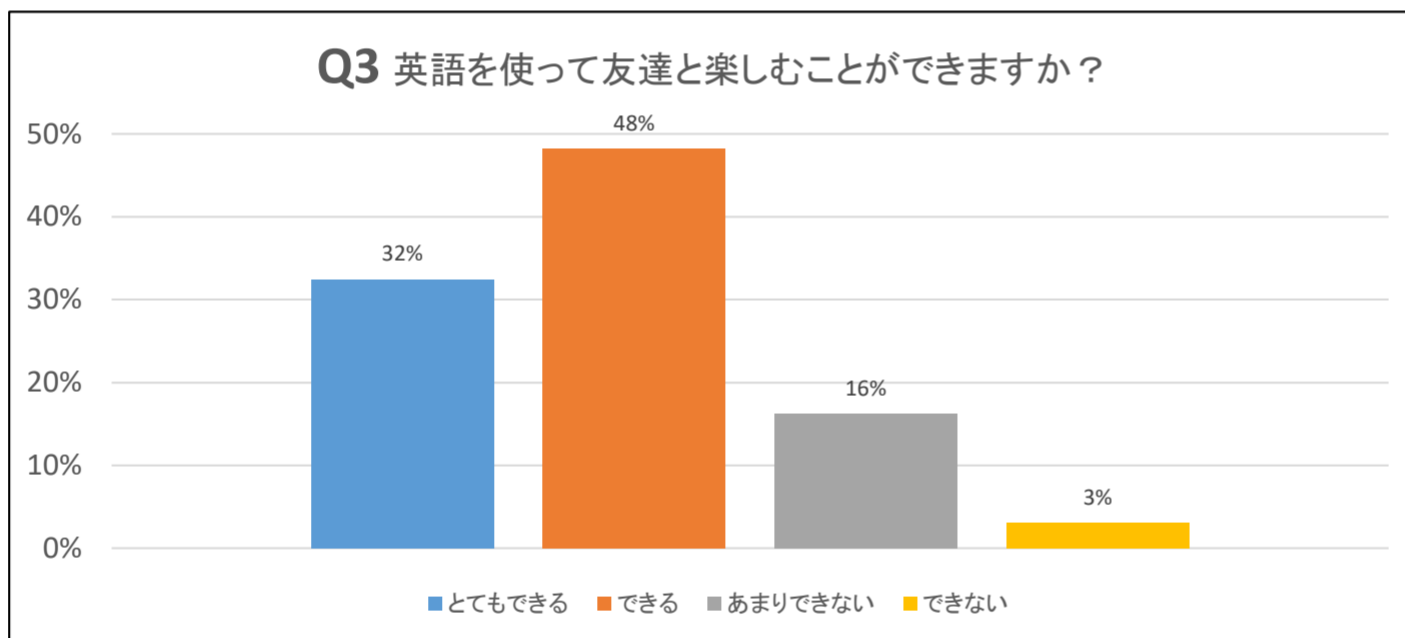
令和5年度外国語(英語)の授業に関する児童用アンケート調査結果の分析・考察(豊川小)



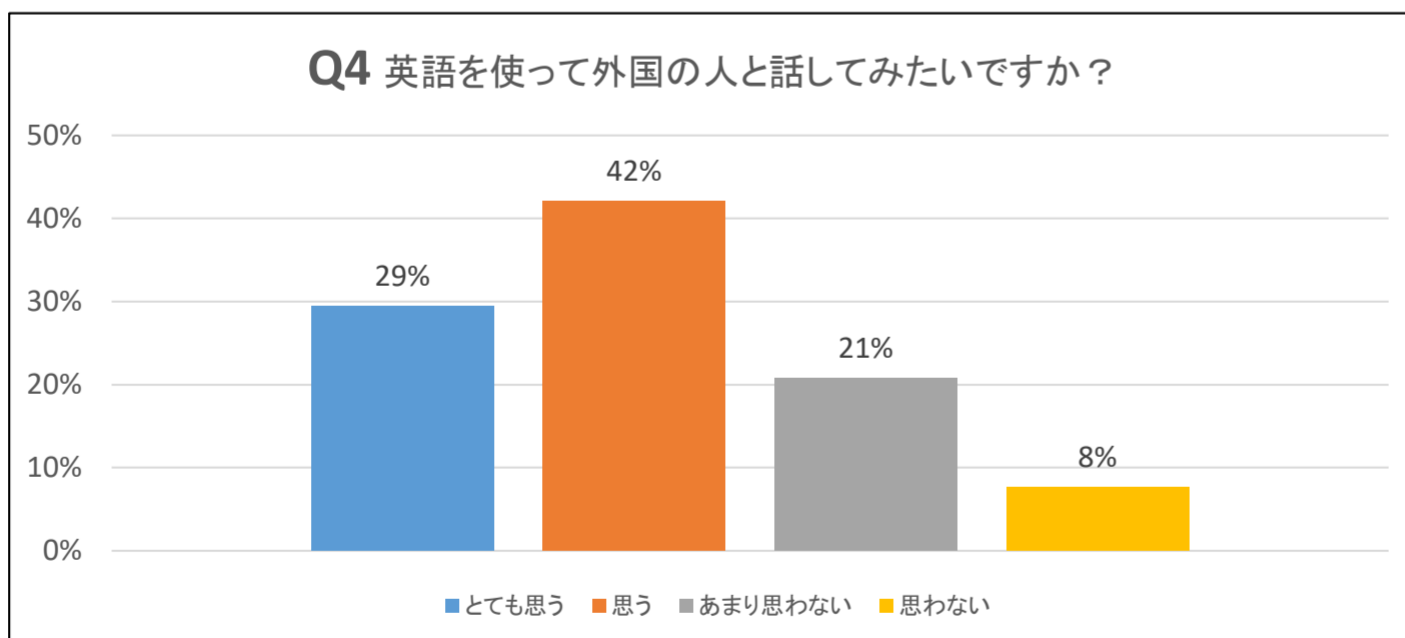
【Q1について】
 外国語(英語)の授業が「とても楽しい」「楽しい」と回答している児童の割合が93%と高い。このことから、外国語(英語)の授業に関心が高く、意欲的に学習に参加している児童が多いと考えられる。
 引き続き今後も、LATと担任が連携して、外国語(英語)を児童が楽しく学ぶための工夫や有用性を感じられるような取組を行っていく。
 一方で、「楽しくない」と回答している児童もいる。授業において、達成感の感じられる工夫や学習がうまく進んでいない児童を中心に、個別に丁寧に対応する必要がある。



【Q2について】
 授業において、児童が「楽しい」と感じている活動は「ゲーム」や「歌やダンス」を取り入れた活動である。
 音楽や身体表現、ゲーム的な要素を取り入れることで、外国語(英語)の学習に対する抵抗感を減らすことができ、主体的に学習に取り組んでいると考えられるので、今後も積極的に取り入れていきたい。
 また、「友達と英語を使って話すこと」や「英語を上手に話せること」等英語を使って会話することに楽しさを感じている児童もいる。今後も、外国語(英語)を使った活動を楽しみと感じることができるよう授業づくりを行っていきたい。



【Q3について】
 「外国語(英語)を使って友達と楽しむことができる」と回答した児童の割合が80%で、多くの児童が授業を中心に外国語(英語)を使ったコミュニケーションを楽しみながら行っていると考えられる。
 今後も、学年や発達段階に応じて身近で簡単な事柄について外国語(英語)で尋ねたり答えたり、外国語(英語)で自分の考えや気持ちを伝え合う活動を行い、外国語(英語)でコミュニケーションすることのよさや楽しさを味わえるようにする。



【Q4について】
 71%の児童が外国語(英語)を使って外国の人と話してみたいという意欲をもっている。
 このことは、これまでの学習で、外国の文化に触れたり、ALTとコミュニケーションをとることで異文化に対する興味・関心が高まり、身に付けた外国語(英語)を使ってみたいという意欲が高まっていると考えられる。
 しかし、約30%の児童が、外国語(英語)を使って外国の人と話したいという意欲が高まっていないので、さらに他教科とも関連づけながら異文化について知る機会を増やし、時、場所、状況等を設定したALTとのコミュニケーションを取り入れた学習を進めていきたい。

【保護者・学校関係者からの意見・要望等】
 保護者アンケートでは、1年生から外国語(英語)の学習に取り組むことに肯定的な意見が多かった。また、少数ではあるが、「外国語(英語)専科の教員を配置してほしい」という意見も見られた。

【考察・今後の展望等】
 外国語(英語)の授業に対する児童・保護者・学校関係者の評価や期待は高い。
 今後も、取組事例を共有したり、ATLとさらに連携したりしていくことで、児童が楽しみながら学べ、しかも、学びが深い外国語(英語)の授業づくりに努めていきたい。